

インテリアちょっとヒント!!

フローリングの色を決めるとき...

新築、リフォームなどでは、まず、床の仕様からきめていくことが多いですが、そこで圧倒的に支持されているのが「フローリング」です。さて、フローリングのカラーは、おおまかに分けて、「ダーク」(濃い茶色)、「ミディアム」(いわゆる普通の茶色より少し薄い)、「ライト」(明るい茶、黄土色に近い)、「ナチュラル」(白木の色)の4つに分類されます。(メーカーによって、呼び名が違う事もあります。)

「ダーク」シックなイメージの部屋にしたい時...

・手持ちの家具...クラシック調

アジアンテイスト(バリ風)

・マッチする色...寒色系、ピュア・ホワイト
・カーテン・ドレープとレースのペアで、重厚感を

「ミディアム」

オールマイティーなコーディネートのために...

・手持ちの家具...特にデザイン等、揃えていない時
・マッチする色...ほとんどがマッチしますが、暖色系の方が落ち着きます
・カーテン...特に選ばず、パルーンカーテンなどいかがでしょうか

「ライト」...明るく、若々しいイメージの部屋に...



・手持ちの家具...軽い雰囲気のもの。イタリアンテイスト、リゾートアジアン系、ラタン
・マッチする色...暖色系、アイボリー・ホワイト(ピュア・ホワイトは、やほっとなるでしょう)
・カーテン...ケースメントが相性マル。ロール・スクリーンなどで凝ってみても。

「ナチュラル」...言葉通り、ナチュラルなムードで...



・手持ちの家具...もちろん白木の家具ならぴったり!
・マッチする色...原色、パステル・カラーなども合います
・カーテン...レース、ブラインドなど

壁紙の色を決めるとき...

「1.フローリングの色を決める時」で、マッチする色の系統がだいたいお判りになったと思いますので、色の方は、それに合わせていくと、失敗がありません

「サンプル帳の見方」

始めの方のページには、メーカーの一押し品、そして大体、織物調、石目調、花柄、などテイストごとに分けられています。事前にいくらイメージが固まっても、あの多量のサンプルを見てしまうと本当に迷ってしまいますので、まず、最低これだけはきちんと決めておきましょう

・建物全体でイメージを統一するのか、部屋ごとに変えてしまうのか。

・汚れ防止壁紙などの機能重視かデザイン優先か(部屋ごとでもかまいません)

これだけを決めていけば、選び方がぐっとスムーズになるはず

「選び方のコツ」

1. サンプルでは、かなり濃く見える壁紙も、広い面積になると、ずっと白っぽく、明るくなります。
2. 反対に、白っぽい部屋がいいということで、見た目に「真っ白い」ものを選ぶと、「青みがかかる」、事になるので注意が必要です
3. 柄のあるものは、サンプルで柄行が判るくらいの物は良いのですが、大柄は注意しないと貼ったときにイメージと違う事になります。メーカーで、大きいシートのサンプルも用意されていますので、それを見てみるか、プロに相談してください。ただし、同系色の地柄模様などは、大きな柄でも比較的失敗がありません

「ボーダーをいれたい」

壁にはぐるっとボーダーの壁紙をまわして、、、素敵ですね
でも、ボーダーに関しては別途施工費がかかることが。(メートル2000円前後)確認しましょう。

ボーダーの高さ位置も、間違えると大変。実際にメジャーで位置の検討をしましょう

サバ...

『鯖』サバ=スズキ目=サバ科

サバの語源は「小歯」。魚体に似合わず歯が小さいことから命名されたといわれる。

主に日本周辺に分布し、大群をなして沿岸表層を回遊する魚で、年間30万トンほどが漁獲されている。



笑って笑って ハイ!笑って

森永製菓の就職面接で、面接官に「当社のCMの一つあげて下さい」と言われた友人は、すぐに思いついたフレーズを歌い始めた。「♪チョコレイト、チョコレイト、チョコレートは...」ここまできたところで、これが明治のCMであることに気付いたが、もう引込みがつかず、そのまま何事もなかったかのように、「チョコレートはも・り・な・が♪」と歌い切ったそう。後日、友人は見事合格した。



鯖はクイクイ鱈はモゾモゾ

普通、アジは底、サバはその上にいるが、混棲していることもあり、初心のうちにはどちらが食ったものか分からない。サバのつもりで強く合わせるとアジの口が切れて逃げられてしまい、アジかと思って小さく弱く合わせるとサバにハリが刺さらず逃げられてしまう。その失敗がないように、両者の魚信(アタリ)の違いを一言で表した言葉。釣りの醍醐味は「合わせ」にある。



鯖の生き腐れ

サバは水から揚げると直ぐに死に、死後硬直も早く表れる。それに体内酵素の働きが他の魚より強いので、自己消化・腐敗が進みやすい。従って、外見は新鮮そうに見えても、食中毒を起こしがち。鮮度には気を付けよ、の教え。



鯖を読む

物を数えるとき、自分の都合のよいように数を誤魔化すこと。昔、魚屋が漁師から魚を買い取るとき、船の魚槽から一々その数を数えながら籠に入れた。その際、狡い魚屋は口よりも手の方が速く、魚の数を誤魔化したという。別にサバに限った訳ではないが「鯖の生き腐れ」といわれるところから、特に急いで数えたためか、サバが代表された。千葉県・勝浦港が発祥という。転じて出鱈目、いい加減などの意にも使われる。



センスの悪い服ばかり
買ってくる主人に文句を言うと、「お前を選んだのも俺だぜ」と言われた...



年賀状に必ず年齢を書いてくる、ちょっと変わった友人がいる。今年は「29歳と120ヶ月になりました!」と書いてあった。いつまで20代のつもりなんだろう。

実家の母から電話があった。
母:「パソコンが急に動かなくなったのよ。」
私:「何か直前に変わったことをした?」
母:「それが、父さんがするいつもの犬の散歩を、今朝は私が...」
パソコンと関係ないだろ!

